

5 国際ユニヴァーサルデザイン会議

平成24年10月12日から14日の3日間、福岡国際会議場及び福岡国際センターにおいて「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡」が開催されました。

この会議は「産学官の垣根を越え、国内外のユニバーサルデザインの専門家が一堂に会し、情報の共有化と人的交流を行うことで、バリアフリーや福祉のまちづくりにとどまらず、より質の高い社会の実現を目指し、誰もが安全で快適に暮らせるためのアイデアや研究発表、事例紹介等を行う」ことが目的とされています。

福岡県はこの会議を共催するとともに、ユニバーサルデザインに関する福岡県の取り組みを紹介するブースを出展しました。

会議は福岡国際会議場及び福岡国際センターで開催されました。国際会議場では県知事等の挨拶やシンポジウム、プレゼンテーションなどが行われ、国際センターでは、各出展団体のさまざまなユニバーサルデザインが紹介されました。

国際センターが会場となった展示会では、福岡県・福岡市をはじめとした49の団体がブース出展を行いました。



福岡県建築指導課のブースでは、これまで行った福祉のまちづくり事業（施設等のバリアフリー整備に対する補助及び普及啓発、県有施設のバリアフリー整備を行う事業）をパネル形式で紹介したり、建築指導課が発行しているまちづくりニュースやハートフルタウンといった広報誌を展示しました。



福岡県障害者福祉課のブースでは、平成24年2月より導入した「ふくおか・まごころ駐車場」（パーキングパーミット制度）について、パネルによる説明や、実際の利用証等を掲示して紹介を行いました。

「ふくおか・まごころ駐車場」については、まちづくりニュースVol.7でも紹介しています。



福岡県自動車産業振興室ブースでは、高齢者に優しい自動車に関する取り組みを模型や映像、パネルにて紹介しました。福岡県の提唱により、36都道府県で構成された「高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合」では、高齢者の自動車使用実態に適した左写真の模型のような小型車を提案しています。



国際ユニヴァーサルデザイン会議のマーク



福岡市のブースでは、市が目指している「みんながやさしい、みんなにやさしいユニバーサルデザイン都市・福岡」に関する取り組みを紹介していました。

ブース内に入ると、カラー化した通路が設けられているなど「ユニバーサルデザイン都市・福岡」を体感できるものとなっていました。



(NPO) カラーユニバーサルデザイン機構は、誰にでも分かりやすい色づかいを研究しており、このブースではノートや教科書、リモコンなど開発した物を展示する他に、実際に特殊な眼鏡をかけて色弱者の色の世界を体験することができました。

「第4回国際ユニヴァーサルデザイン会議2012in福岡」の詳しい様子は福岡県HP <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d11/4th-icud-fukuoka.html> に掲載しています。

また、主催であるIAUDの公式HPは <http://www.iaud.net/> となります。これまで開催した国際ユニバーサルデザイン会議の詳細もこちらからご覧になれます。

